

第7回エコ住宅素材展～夢をかなえるエコ・リフォーム～

事業目的：多くの方に自然素材を使用した建築についての関心を広め、また住宅の建築やリフォームへの情報提供としてエコ住宅素材展を企画し、地球温暖化防止や健康被害のない環境に配慮した住宅用環境素材を周知するものである。

期間：平成22年9月3日(金)～10月31日(日) (木曜日休館) 午前9時～午後5時

会場：京エコロジーセンター 2階企画展示コーナー

報告内容：今年度はテーマのエコ・リフォームの中で3つのテーマに絞り込み、メーカーにエコな素材(環境、健康等に悪影響を及ぼさない建築材料)を出展していただき展示しました。1、省エネルギーを考えましょう!2、自然素材でリフォームしましょう!3、耐震補強をおこないましょう!のそれぞれのテーマと体験コーナーの4つのコーナーを色別に分類し表示板等のデザインも色に分けてみる人にわかりやすくしました。もちろん素材が何がエコなのかを表示したエコなポイントを掲げました。新築よりもエネルギー消費の少なくてすむリフォームのポイントに建材をリンクさせた説明展示やエコ住宅にすることで利用できる補助金や制度融資の優遇制度の一覧を展示しました。また見ていただく人が面白く楽しめるように体験コーナーの充実を図りました。従来の木の暖かさを体感できる床材の展示や木の樹種あて、簾の温度体験等に加えて新しく、壁紙を触って感触の違いをみる体験、昔ながらの藁床畳を製作し触れてもらう体験、木造軸組みの釘等を使わない仕口・継手を組む体験を設けました。とくに継手・仕口の体験は他ではできなく面白くて大好評でした。

10月27日(土)にはエコ住宅素材展にあわせ、関西自然住宅の勉強会「建築における漆(漆塗りの実践も含む)」を3階のリサイクル工房で開催し連携をはかりました。

さらに、期間中に4回のワークショップを開催しました。

9月18日(土)は「調湿泥団子作り」

10月3日(日)は「すだれづくり」

10月17日(日)「ドリームキャッチャーづくり」

10月31日(日)、「木工ワークショップ」

今年度はエコメイトさん達にも素材展のレクチャーを受けてもらい、大変興味を持っていただいて来館者への説明していただいたので良かったと感じております。

見学者の反応ですが、本年度も前年同様ポストイットに感想を書き込んで貼っていただきました。書き込み量が前年度の何倍もあり、その内容も「良かった」が大半を占め喜ばしい限りです。





京都新聞 9月7日の記事

省エネや環境負荷を考えた住宅リフォーム素材を紹介する展示コーナー（京都市伏見区・京エコロジセンター）



環境住宅に関心を

京エコセン 建材や工法を紹介

伏見

環境に配慮しとされるリフォームに着目し、省エネ、自然素材、耐震の3テーマに沿って展示をしている。環境負荷が小さい

関西自然住宅推進ネットワーク（大阪市）

の企画で年に1回開いている。今回は、家の解体や新築に比べ、ごみや消費エネルギー量が少ないリフォームをテーマに取り上げた。

日射を適度に遮るすだれや、逆に日射の熱をためるムク材や石材の紹介をはじめ、調湿やシックハウス対策に効果的な自然素材の壁紙や塗料などを展示している。ムク材と複合材、畳の温度差体験や、くぎを使わずに材木を組む工法の仕口、継手に触れるコーナーもある。

午前9時～午後5時。10月31日まで。無料。（石川健一郎）